ESPRESSO
MACHINE

INSTRUCTION MANUAL

METODO
IPERESPRESSO

目　次

- 安全上のご注意…… 3
- 各部のなまえ…… 5
- 設置手順と試運転…… 7
- 電源 ON/OFF …… 8
- コーヒーの抽出…… 9
- カプチーノの作り方……11
- お湯の作り方……13
- スチーム使用後のコーヒーの抽出……14
- スケール除去……15
- クリーニングとメンテナンス……17
- 仕様・推奨……18
- 故障かな? ……19
- 保証書……21
- 修理・アフターサービス……23

安全上のご注意　各注意事項を、必ずお守りください。

★ ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
★ ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
★ 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

★ 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
：禁止	：接触禁止	：指示を守る
：水ぬれ禁止	：分解禁止	：電源プラグを抜く
：ぬれ手禁止		

⚠ 危険

自分で絶対に分解・修理・改造は行わない
感電・火災の原因になったり、異常作動してケガをすることがあります。

⚠ 警告

電源／コンセントについて

電源は交流100V（50/60Hz）で「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が2つある場合は、片方の差込み口を使用せず、空けたままにしてください。

延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
使用中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターに、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

動作中に電源プラグを抜き差ししない
感電・火災の原因になります。

電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターに、交換を依頼してください。

⚠ 警告

使用中／使用後について

お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

コーヒー抽出口や給湯ノズルから出てくるお湯やスチーム（蒸気）に注意する
高温のため、ヤケドの原因になります。

使用中は給水タンク内の水量をチェックする
異常発熱し、発火する恐れがあります。

使用中

異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに**電源を切り**、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。

お手入れについて

本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷えてから行う
ヤケド・感電・ケガの原因になります。

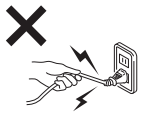
⚠ 注意

電源について

ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する
使用中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



使用中は、電源コードを本体に触れさせない
熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。

⚠ 注意

設置場所について

本体は不安定なところや熱に弱い場所に置かない
本体や置いた物・場所が変形・変質したり火災の原因になります。

使用中／使用後について

本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・火災の原因になります。

長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。

本体や操作部に水やジュースをこぼさない
本体や操作部（コントロールパネル）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、使用を中止します。その後、お求めの販売店またはキーコーヒー㈱お客様センターまでご連絡ください。

使用中および使用後しばらくはコーヒー抽出口部分、スチーム管に触らない
ヤケドの原因になります。

屋外や他の用途で使用しない
本製品は、コーヒーの抽出、給湯、蒸気による泡立て／加熱など専用です。故障の原因になります。

使用しないときは、電源を切り、必ずプラグをコンセントから抜く
故障の原因になります。

給水タンクの最大水量（MAX 表示）を超えて水を入れない
故障の原因になります。

他製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない
故障や事故の原因になります。

お手入れについて

使用後は、必ずお手入れする
故障の原因になります。

絶対に、水に浸したり、水洗いをしない
故障の原因になります。

本体と電源コード／プラグに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない
感電やショート、故障の原因になります。

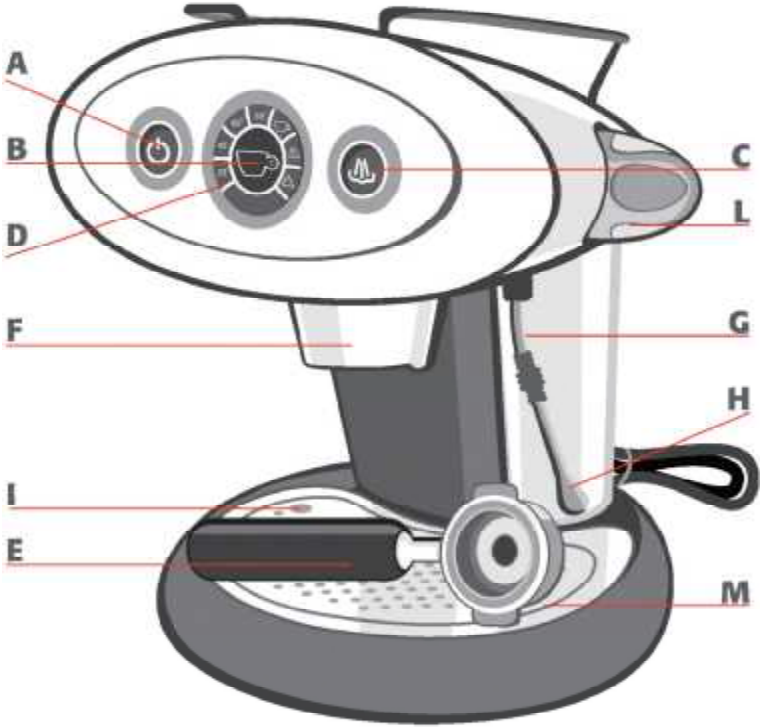
洗剤は、必ず台所食器用洗剤を使用する
研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

ガラス磨き、シンナー、アルコール、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しない
本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。

牛乳の加熱／泡立てなどでスチームを使用した後は、必ずお手入れする
衛生のため、必ずお手入れしてください。ミルクが内部に残ったり、固まったりするのを防ぎます。

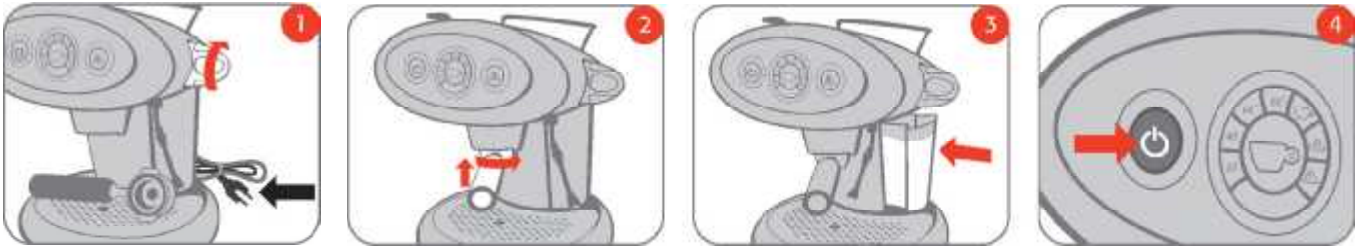
各部のなまえ

A　電源ON/OFFスイッチ
（電源ON時点灯）
B　コーヒーON/OFFスイッチ
(適温時点灯)
C　スチームスイッチ（作動時点灯）
D　温度表示
コーヒーランプ－スチームランプ－エラー
E　カプセルホルダー
F　抽出ユニット
G　スチームアーム
H　スチーム先端
I　ドリップトレイ満水表示
L　スチームノブ
M　ドリップトレイ



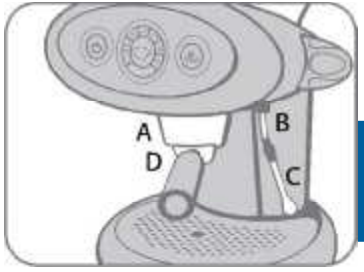
N　カップホルダー
O　水タンク
P　電源コード
Q　定格銘板
R　アラーム
　　起動時、誤作動時にアラームが鳴ります。

■設置手順と試運転



本体を電源に接続する前に前項の安全上の注意をよくお読みください。

- スチームノブが閉っている事を確認してからマシンの電源プラグをコンセントに差してください。❶
- カプセルホルダーを所定の位置までしっかりとはめてください。❷
- 水タンクを外し、洗い、水を入れて、正しい位置に戻した事を確認してください。❸
- 電源を入れるために、電源スイッチ ⏻ をライトがつくまで押してください。❹
  自動的にボイラーへ給水されます。



発送時の梱包材を（少なくとも保証期間内は）保管することをお勧めします。
マシンの修理のためにサービスセンターへ発送する時に必要になります。

⚠ 注意：
抽出ユニットA、スチームアームBとC、カプセルホルダーの金属部分Dは大変熱くなりますので火傷に注意してください。

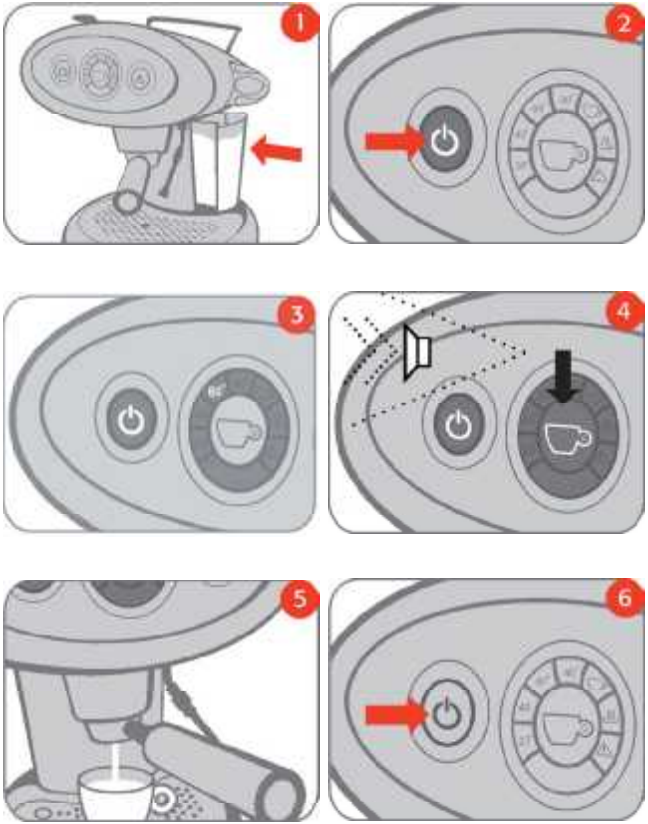
■電源 ON/OFF

- **水タンクの上限まで水を入れてください。** ❶
- ライトが点くまで電源スイッチを押して ⏻ 電源を入れてください。❷
  水タンクから自動的に給水されます。
- 温度表示のアイコンが点灯し、ボイラー温度を表示します。❸
- 数分後、設定温度に到達するとコーヒースイッチ ☕ が点灯し、ブザーが鳴ります。❹

❗ 三角形の注意アイコン ⚠ が点滅し、早いブザーが鳴った時は、「故障かな？」のページをご覧ください。

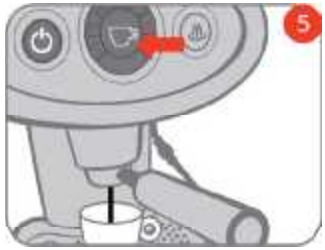
❗：初めてマシンを使用される時、又は長時間使用されなかった時は使用を開始する前にカプセルなしで数回抽出してください。❺

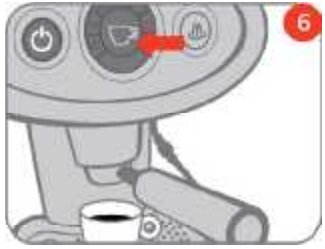
- マシンの電源を切るには、電源スイッチ ⏻ をライトが消えるまで押してください。
  マシン電源がONのままプラグを抜かないでください。❻



■コーヒーの抽出

• X7マシンは“Metodo Iperespresso”カプセル専用マシンになります。❶
コーヒーの抽出量はあらかじめ工場出荷時に設定されており、マシンが自動で1杯分の分量を抽出します。





●手順

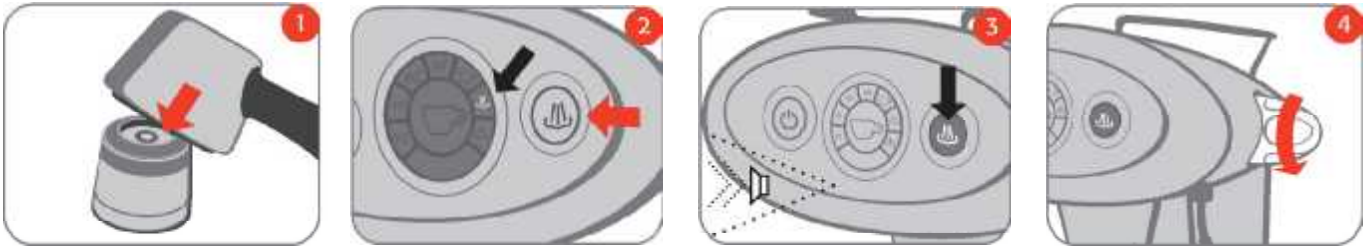
1 コーヒースイッチ ☕ が点灯していることを確認してください。❷
2 カプセルホルダーを左に回して取り外し、カプセルの向きを確認し、**差し込んでください。**❸
3 **抽出ユニットにカプセルホルダーを戻し、所定の位置に止まるまで右に回してください。**❹
4 コーヒースイッチ ☕ を押すと、コーヒーの抽出がスタートします。❺
コーヒーの抽出は設定量に達すると自動で止まります。
5 設定量に達する前に抽出を止める時はコーヒースイッチ❺**を再度押してください。**❻
6 カプセルホルダーからカプセルを取り出し、2杯目以降の抽出はこの手順を繰り返してください。
抽出サイクルは、はじめに3秒間蒸らし抽出があり、その後設定量まで抽出します。

• もし、カップのコーヒー量を変更したい場合、新しいカプセルをセットし、コーヒースイッチ❺**を好みの量になるまで押し続けて、適量になったらスイッチを離してください。**
設定した量がマシンに記憶されます。

• また、コーヒー抽出の自動停止機能を使用したくない場合は、この機能を無効にすることができます。
自動停止機能をリセットする場合は、コーヒースイッチ❺を３秒間押し続けることで無効になります。
抽出を止めるにはコーヒースイッチ❺を再度押してください。

⚠ 注意：
• 安全の為、抽出は約1分後に自動で止まります。
• 蒸留水や浄水はコーヒーに使用しないでください。マシンの正常機能に障害をもたらす恐れがあります。
• ドリップトレイを空にし、定期的に掃除してください。
• 水タンク内の水は頻繁に替えてください。

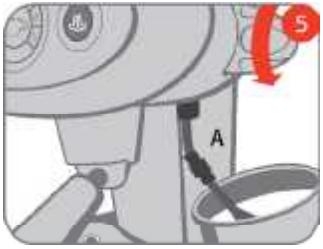
■カプチーノの作り方



• マシンにはカプチーノに必要なミルクを温める為にスチームアームが取付けられています。
以下の手順に沿ってカプチーノを作る準備をしてください。

●手順

1 まず、カップにコーヒーを抽出し、カプチーノ用のコーヒーを準備します。
2 次にミルクを温めます。
3 カプセルホルダーから**カプセルを取り出してください**❶。
4 スチームスイッチ **を押してください**❷。**マシンが加熱を始めディスプレイにある小さいスチームのアイコンが点灯します**。
5 スチームスイッチ が点灯すると使用可能です。❸**この時、**マシンは準備完了をお知らせする短いブザーが鳴ります。
6 新鮮なミルクを冷蔵庫から出し、ピッチャー（金属製を推奨）に注ぎます。
7 スチームノブ❹を反時計回りに少しずつ回してノズルから残った水分を抜き出します。完全に蒸気になったらスチームノブを時計回りに回して閉めてください。



8 スチームアームをミルクに浸し❺、スチームノブを反時計回りに回し、スチームノブを開け、ミルクを温めます。

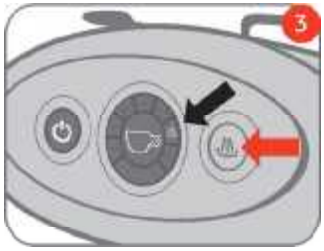
9 ミルクが適温になったら、時計回りに回してスチームノブを閉めてください。コーヒーの入っているカップにミルクを注いで完成です。

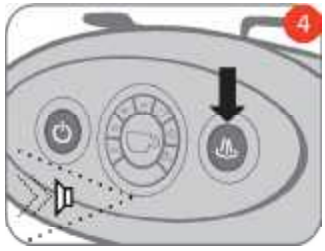
10 使用後はノブを回し、ノズル内に残ったミルク除去のために、スチームを放出してください❻。またミルクの付いたスチームアームを布巾で拭いてきれいにしてください。

⚠ 注意：

- ⚠ スチームとスチームアーム A は大変熱くなりますので火傷に注意してください。
- 逆流の恐れがあるので、マシンが冷たい時やノズルが水に浸っている時はスチームノブを回さないでください。
- 8分以上スチームを使用しない場合、または、ノブを8分以上使用した場合、過熱を防ぐ為に自動的にコーヒーモードに切り替わります。スチームボタンを押している最中に切り替わった場合、ディスプレイ中心にあるスチームアイコンは点灯しません。代わりにコーヒーアイコンが点滅し、コーヒーの温度が下がり始めます。10分後、スチームボタンを押すとまたスチームモードに戻ります。
- ⚠ スチームモードで加熱している時は、マシンのボイラーは温まり、カプセルホルダーの底からスチームがわずかに放出される時があります。
  火傷をしないよう、コーヒー抽出部分周囲に手などの身体を触れないようにしてください。

お湯の作り方





1 コーヒーマシンに装備されているスチームアームで水も温められます。

2 カプセルホルダーからカプセルを取り出し❶、**スチームアームに付着したミルクを拭き取ってください。**❷

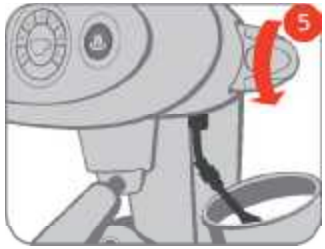
3 スチームスイッチ を押してください。マシンが温まり始めたことを表示する全面ディスプレイのスチームアイコンが点滅します。❸

4 スチームスイッチが点灯するまで待ってください。短いブザーに続いてマシンがスチーム抽出可能な状態になります。❹

加熱したい量の水を金属製のピッチャーに用意してください。

5 スチームアームを水に浸し、スチームノブを左回りに回し開けてください。❺

6 **ご希望の温度まで達したら、右回りに回してスチームノブを閉めてください。**❻



⚠ 注意：
- スチームモードで加熱している時は、マシン内のボイラーは熱くなっていますのでカプセルホルダー底からわずかなスチームが放出される恐れがあります。火傷をしないよう、コーヒー抽出部分に手などの身体を触れないようにしてください。

スチーム使用後のコーヒーの抽出

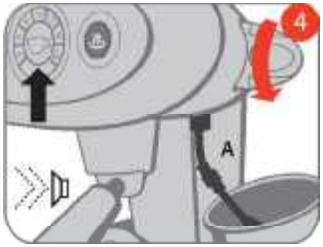
- ボイラーで温められた熱湯は熱すぎてコーヒーの味が落ちる恐れがある為、スチーム使用後すぐにエスプレッソ抽出を避けることは大変重要です。この為、ボイラー内の温度が高温の時、コーヒースイッチは反応しません。
  （コーヒースイッチ❶が**OFFの状態**）
- コーヒーの抽出に戻るには、コーヒースイッチ を押し、スイッチが点灯するのを待ってください。❷;冷却段階の間（約10分間)、温度ディスプレイの上のカップアイコンが点灯します。

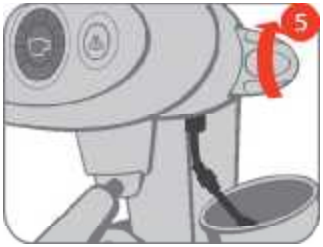
短時間（約1分間）でコーヒーを入れたい場合は以下の手順になります。

1 コーヒースイッチ を押してください。❸

2 スチームアームの下にピッチャーを置いてください。マシンの短いブザーが鳴るまでスチームノブを反時計回りに回してスチームを放出してください。ボイラーの温度が下がるとコーヒースイッチが点灯します。❹

3 スチームノブを右に回して締めてください。❺エスプレッソを抽出する準備ができました。❻





■スケール除去

このコーヒーマシンは、マシン内部にスケール（水中のカルシウム残留物）が付着した場合の除去のため、コーヒーやスチームの抽出量が一定量に達すると自動で以下のアラームが表示されます。

・ディスプレイの三角の注意アイコン ⚠（A）が点滅（2秒ごとに1回点滅）

❗ アラームが表示された場合のスケール除去については、以下の手順で作業を進めてください。これによりアラームが解除され、カウントもリセットされます。

●手順

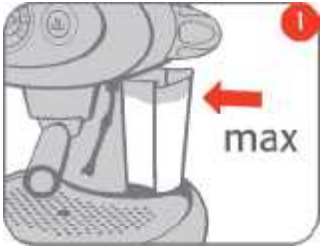
1 水タンクに水を1リットル（上限まで）入れてください。❶

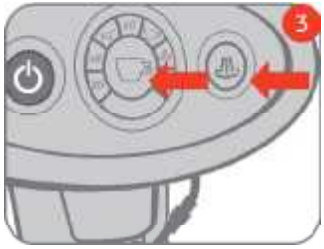
※ご使用中スケール付着によりお湯の出が悪くなったと感じられた場合は、お問合せいただくか、市販のコーヒーマシンスケール洗浄剤等を入れてください。洗浄剤の取り扱いは洗浄剤の説明書に従ってください。

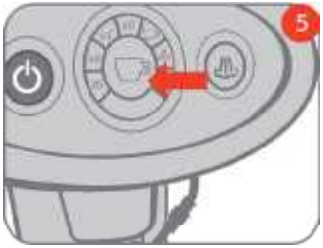
2 カプセルとホルダーを取り外し、抽出部分の下に1リットル容量以上の空の容器を置いてください。❷

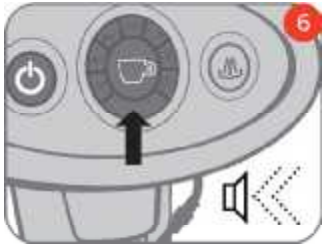
3 コーヒースイッチ ☕ とスチームスイッチ ♨ を同時に5秒以上押してください。❸

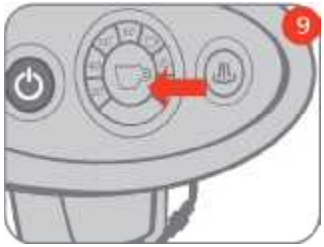
4 コーヒースイッチ ☕ と三角の注意アイコンが点滅を始めます。❹











5 スケール除去をスタートするにはコーヒースイッチ を押してください。コーヒースイッチ はオフになり、自動的に間隔をあけて洗浄サイクルが作動します。5

6 スケール除去サイクルの最後に（約30分後）、マシンはブザー音を鳴らし、コーヒースイッチ が再度点滅を始めます。6

7 タンクを取り出して残った水を空にして、1リットルの新しい水を入れてください(すすぎ用)。7

8 容器を空にし、抽出部分の下に置いてください。8

9 コーヒースイッチ を押し、すすぎサイクルをスタートしてください。コーヒースイッチ はオフになりコーヒーマシンは数分間、間隔をあけてすすぎのサイクルを始めます。9

10 すすぎのサイクル中は三角の注意アイコンは点滅し、完了するとブザー音が鳴ります。10
終わりましたら、残った水を捨て容器を空にしてください。マシンが使用可能になります。

⚠ 注意：
- スケール除去の動作中に停電が起こった場合、最初からスケール除去の手順をやり直す必要があります。
- ⚠スケール除去として、酢、アルカリ洗剤、塩、ギ酸の使用はマシン故障の恐れがありますので使用しないでください。

クリーニングとメンテナンス

高品質なコーヒー抽出を維持するため、マシンの定期的な清掃をお勧めします。

コンセントからプラグを抜いてマシンが冷えてから作業してください。

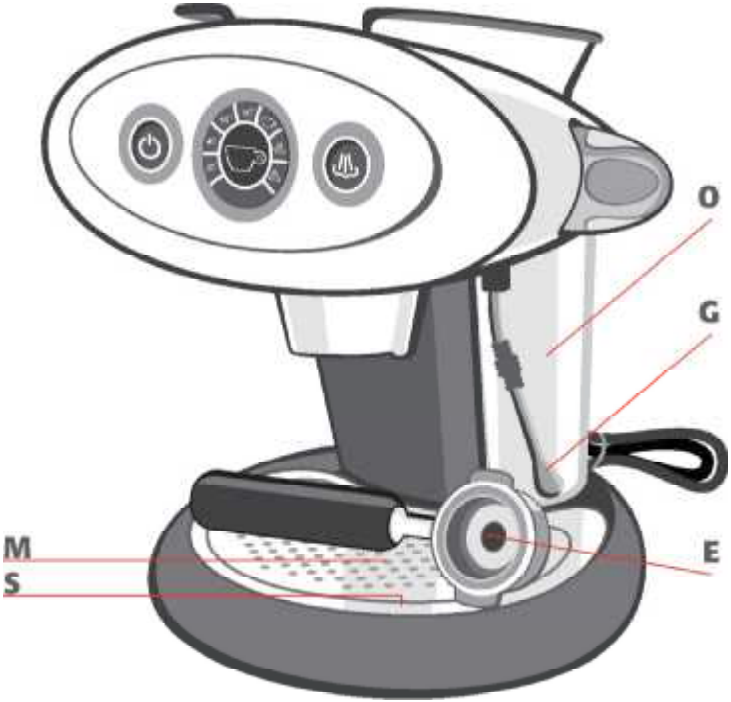
O 水タンクを清掃してください。

G スチームアームを清掃し、アームに付着したミルクの付着を落としてください。

E カプセルホルダーを清掃してください。

M ドリップトレイ（金属）を清掃してください 。

S ドリップトレイ（プラスチック）を清掃してください。



注意：
- 洗剤は必ず台所用洗剤を使用してください。研磨剤入り洗剤やクレンザー、漂白剤、スプレー洗剤などは使用しないでください。
- シンナー、アルコール、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジは使用しないでください。
  本体の表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因になります。
- 清掃、メンテナンスの工程の前には電源を抜いてください。

仕様

ボディー：ABS樹脂
ボイラー内部：真鍮
水タンク：1.2リットル
ポンプ：15bar
電磁弁
電子制御：

- コーヒー自動抽出
- 高性能ヒーターコントロール（コーヒー・スチーム）
- スケール除去アラーム
- ボイラー温度メーター
- アラーム
- 自動スケール除去プログラム

スチームアーム
トップカップウォーマー
製品重量：6Kg
電圧：100V、50/60Hz
消費電力：980W

予告なしに仕様の変更、改良を行うことがあります。

推奨

高品質のエスプレッソをお楽しみいただくために：

- 日に1度以上、水タンクの水の交換とドリップトレイに溜まった水を捨てください。
- マシン内部のスケール付着を最小限にするためミネラル含有量の低い水を使用してください。
- カップウォーマーを使用してください。

故障かな？

それでも治らない場合……キーコーヒー㈱お客様センターに連絡してください。

症　状	解決策
マシンの電源が入っているのにスイッチ ⏻ が点灯しない	• プラグがコンセントに接続されているか確認してください。ご家庭の配電盤のブレーカーを確認してください。
コーヒーが出てこない	• タンクに水を入れ、しっかりと取付けられているか確認してください。 • スチームノブが完全に締まっていることを確認してください。 • カプセルホルダーをユニットから取り外してください。 • コーヒースイッチが点灯するまで待ってください。（マシンがコーヒー抽出準備の状態です。） • カップを抽出ユニットの下に置いて、コーヒースイッチを押してください。 • 数秒水を出しっぱなしにしてください。 • 流れが止まるまでコーヒースイッチを押してください。 • カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回し、（Eの位置が止まるまでハンドルを回してください。）再度、コーヒーを抽出してください。B
ノブを回したがマシンから蒸気が出ない。	• 事例 a）もし、温度表示スチームアイコンDがオンの場合、スチームアイコンCが点灯するのを待ってください。 • 事例 b）温度表示スチームアイコンDがオフの場合、スチームスイッチを押し、スチームスイッチが点灯するまで（温まるまで）待ってください。
スチームは出るがミルクが泡立たない	• 事例 c）スチームノズルが詰まった場合、電源を切り、マシンの熱が下がるのを待ち（1時間以上）スチームノズルGの穴から詰まったものを取り除いてください。
コーヒー抽出中にユニットから水漏れする。	• カプセルが家庭用（カプセル上部がボタンと同じ色です。）か確認してください。業務用（カプセル上部が透明）は使用しないでください。 カプセルホルダーに新しいカプセルを入れ、所定の位置にしっかりとカプセルホルダーを回し、（Eの位置が止まるまでハンドルを回してください。）再度、コーヒーを抽出してください。B
早いブザーと三角のアイコンが点滅する	以下の手順を行ってください。 • マシンの電源を切ってください。 • タンクに水を入れてください。 • スチームノズルの下にピッチャーを置き、スチームノブを開いてください。 • マシンの電源を入れ、10秒程お待ちください。 • スチームノブを締め、コーヒースイッチが点灯するまで待ってください。

それでも治らない場合……キーコーヒー㈱お客様センターに連絡してください。

症　状	解決策
三角のアイコンがゆっくり点滅する。	• スケール除去サイクルを実施してください。
マシン内部から水漏れする。	• マシン電源をオフにし、コンセントを抜いてください。
水タンクを満水にしたら漏れた。	• 水タンクを空にして、タンク内部のコネクションバルブの透明なゴムワッシャーを押してください。
スチームボタンを押した後、ディスプレイ中心のスチームアイコンが点灯しないが、コーヒーアイコンは点灯する。	• スチーム機能の継続使用の後、クールダウンをする必要があります。10分置いてからスチーム機能が再始動します。
抽出が始まる前にカプセルからコーヒーが落ちる。	• 最初の数秒の抽出でコーヒーが滴り落ちるのは蒸らし抽出であり、正常です。

メ　モ